

選手の管理体制強化について【ガイドライン】

2020年4月16日

新型コロナウイルス感染症対策本部

	項目	ガイドライン
1	参加当日起床時	・選手は参加当日の起床時に検温を実施し、37.5度を目安に参加を控える
2	競輪場到着時	・競輪場到着時に検温を実施し、37.5度以上及びかぜ等症状がある選手は管理棟内に入れること無く隔離（場内救護室等）し、競輪場派遣医師の所見を参考に参加の可否を判断する
3	競輪場到着後	・マスク着用（アップ、ダウン時を除く）を義務付ける
4	参加状況申告時	・1m～2mの間隔を確保する
5	参加受付（帰郷時も同様）	・床へのマーキング（立ち位置表記）を実施する（概ね10人分1m以上）
6	選手控室	・選手控室に選手が滞留しないよう宿舍居室を積極的に活用する。※フル使用率の5割減目安 ・競走終了後の選手は極力立ち入らないよう別の待機場所の提供を検討する（会議室、休止中場内施設等）
7	検車確定検査	・床へのマーキング（立ち位置表記）を実施する（概ね10人分1m以上） ・可能な限り検査時間の拡大を図る
8	身体検査	・可能な限り検査時間を拡大し、入室選手は原則3名までとする ・落車発生時の同県選手の入室は原則1名とする
9	自由練習 （ローラー練習）	・練習台設置場所を1台おきとする等概ね1m～2mの間隔を空けることとする（投票所施設の有効利用も考慮する）
10	開催式	・原則として選手宿舍にて放送により実施することとし、選手は宿舍居室にて待機する
11	輸送バス	・可能な限り増便するとともに、乗車区分を明確にし、座席間隔を十分に確保の上、バス内必要か所のアルコール消毒を実施する
12	入浴	・サウナの使用禁止及び分散して入浴するようアナウンスする
13	夕食 （朝食・昼食も同様）	・当分の間飲酒は禁止とする ・選手毎（地区毎）に夕食時間を指定する（～30分） ・椅子へのマーキング（×印）の実施
14	選手宿舍（居室）	・可能な限り同部屋選手数を減らす ※可能であれば分宿対応も検討する
15	選手宿舍	・選手が多数集まる場所（喫茶コーナー、談話スペース等）の利用を制限する
16	マッサージ	・当分の間取り止めとする
17	就寝時	・就寝前検温の実施徹底
18	起床時	・起床時検温の実施徹底
19	レース前	・控室の換気徹底（ドア開放等）
20	レース後	・レース終了選手の自転車受け取りは出走選手1名につき原則1名とする
21	随時	・時間毎（例：レース毎）に管理施設全般のアルコール消毒を実施する

※上記の他、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、「密閉」「密集」「密接」の3密を避けるよう積極的対策を実施すること